

## 第 83 回ブレイクスルー研究会議事録

### コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像

1. 日時：2020 年 10 月 19 日（月曜日）18:30 から 20:30
2. 場所：オンライン開催
3. 参加者：19 名
4. 講師：岸本喜久雄氏（NEDO 技術戦略研究センター長）
5. 内容：

#### 1) 自己紹介と組織

- ・東工大の機械系教授を務めた。現在、日本工学会会長。
- ・2020 年 NEDO に入りセンター長、コロナ特別チームを編成した。

#### 組織概要

- ・NEDO 技術戦略研究センター(TSC)では、ナショナルプロジェクトなどの企画・立案を行う、所員は約 80 名。
- ・企画立案とプロジェクトマネジメントが重要である。最近では、新たに農水ユニットを立ち上げた。(10 ユニット)
- ・3 つの類型化を行った。ミッションとして、社会変化(類型 3)をとらえ、将来を見て(類型 2)、実効性(類型 1)のあるものを提言する。
- ・TSC Foresight (6 分野+コロナ)を発行している。
- ・NEDO では、取り組みを推進する「持続可能な社会を実現する 3 の社会システム」を ESS (Essential System for Sustainability) としてシンボルマーク化している。  
3 つの社会システムは、サーキュラーエコノミー、バイオエコノミー、持続可能なエネルギーである。

#### 2) 本テーマの内容

- ・6 月 24 日に報告したレポートは以下の URL に掲載されている。  
<https://www.nedo.go.jp/content/100919493>
- ・コロナ後の予測に関する多くの調査を行い、これを整理したコロナ後の社会を想定、期待されるイノベーションをあきらかとした。(技術戦略研究センターで、コロナ特別チームを立ち上げ 120 名程の識者が発信した情報などを基に短期間で纏め上げた)
- ・コロナ後の社会像として 6 つの変化を取り上げる。1. デジタルシフト、2. 政治体制や国際情勢変化、3. 産業構造の変化、4. 集中から分散化、5. 行動変化、6. 環境意識変化。
- ・これらを分野ごとに展開した。医療、製造業、家庭・教育、行政、都市、社会変化である。(社会変化の具体例)
- ・ジャック・アタリ氏の日本における楽観的な予言を支持したい
- ・コロナが気づかせてくれたニーズと技術のマップを作製した。共通キーワード (デ

デジタルシフト) と共通技術をまとめた。(業界別デジタル移行マップ等)

- DX (デジタルトランスフォーメーション) に向けて期待されるイノベーション像をまとめた。ICT 企業が引き上げるとしている。
- コロナ後の特徴的な産業分野を 4 つに区分した。区分 1 はバーチャル空間でのサービス、区分 2 はリアル空間でのサービス、区分 3 はデータ駆動型産業、区分 4 はモノの製造・生産である。

(以下多くの具体例説明)

- 人対モノではなく、対デジタルととらえる。
- ロボットでは人とのつながりを取り入れる。
- 生産ではモジュール化が中心となる。
- 持続可能世界に向けたイノベーション像では、日本の弱点がネックとなる可能性がある。大量生産、モノづくり依存、素材、エネルギー供給の 4 点である。
- NEDO の技術開発総合指針 2020 は、①食のリデュース、②3R、③環境材料・バイオ、プラスチック材料、④再生可能エネルギー及びエネルギーシステムの 4 点である。
- スタートアップとの共創にも力を入れている。
- NEDO もこうした具体像を積極的に発信していきたい。

#### \* 質疑応答

多くの質疑応答が行われた。

- 新たに誕生する産業分野は？デジタル化は産業融合をもたらすのでは？
  - IT と教育問題 (オンライン教育の課題)
  - プライオリティをどうつけるか？
  - 国がやるべきことと企業がやるべきことは？
  - 今後の社会制度との変革の関係？
  - コロナ後にやめるべきことがあるか？
  - スマートシティ構築は OS のみの問題か？豊かな社会像？
  - 未来像のためのデザイン部門は作らないのか？
- など。

以上